

<月1回>

<月1回>

私のまちですすむ

大軍拡

宮崎

④

今年8月7日、新宮町にある航空自衛隊新田原基地に国内初のF35Bステルス戦闘機が配備されました。今年度中に8機、最終的には42機が配備予定です。1機の価格222億円は、新宮町の今年度一般会計予算149億円を大きく上回りま



り、町内では7回開催し約300人が参加、約100人が発言。多くは①一方的方針転換への反発と国への不信感②現在の1.5倍と検討して、結果を不すと返答しましたが、検討結果を示すことなく配備。今後、近隣地域を含め、さらに複数の説明会が開かれますが、疑念と失望は深まるばかりです。

防衛省は、新宮町への調整交付金を過去最高の7・6億円(前年比57

・8%増)と通知。町長は成果とアピールしていますが、交付金でごまかされるのではと心配です。

基地周辺住民による新田原基地爆音訴訟で高裁宮崎支部は、「現在の爆音は受忍限度を超える違法な状態である」として、原告全員の慰謝料支払いを命じました。さらなる爆音被害拡大は許されません。

ほかに膨大な費用を投じて基地拡張や地下化が進行しています。大軍拡ではなく暮らしに予算を！と声を上げていきます。(見湯支部 海老原次子)

国内初のF35Bステルス戦闘機が新田原基地に

今年8月7日、新宮町にある航空自衛隊新田原基地に国内初のF35Bステルス戦闘機が配備されました。今年度中に8機、最終的には42機が配備予定です。1機の価格222億円は、新宮町の今年度一般会計予算149億円を大きく上回りま

り、町内では7回開催し約300人が参加、約100人が発言。多くは①一方的方針転換への反発と国への不信感②現在の1.5倍と検討して、結果を不すと返答しましたが、検討結果を示すことなく配備。今後、近隣地域を含め、さらに複数の説明会が開かれますが、疑念と失望は深まるばかりです。

防衛省は、新宮町への調整交付金を過去最高の7・6億円(前年比57

知っておきたい

食事情

食品表示は消費者の権利の一つであり、知る権利、選ぶ権利を行使する最も大切な手段です。原料原産地表示は現在、全加工食品(輸入食品を除く)が対象です。

原料原産地表示は原則、表示する原産地が2カ国以上ある場合には、製品に占める重量割合の高いものから順に国名を表示し、3カ国以上の場合には、「豚肉(アメリカ、カナダ、その他)」のように3カ国目以降を「その他」と表示できます。

国別重量順表示が困難な場合には、「又は表示」「大括り表示」もできます。

「又は表示」とは、原料原産地の可能性のある国を見込まれる順に表示するもの。産地が3カ国以上ある場合は、「豚肉(アメリカ又はカナダ又はその他)」のように3カ国目以降を「その他」と表示することができます。

「大括り表示」とは、3カ国以上から輸入の場合に「輸入」と表示できるものです。なので、これでは「原産地表示」といってもどこの国か

原産地がわからない原料原産地表示

らの輸入かわかりません。対象原材料が加工原材料の場合は、製造地表示を基本とします。「加工原材料」とは、食品の原材料のうち、小麦粉、マヨネーズなどのすでに加工食品の状態になっている原材料を指し、小麦粉のように1種類の原材料からなるものと、マヨネーズのように複数の原材料からなるもの(複合原材料)とがあります。

「加工原材料」が重量割合の1位であれば、その原材料の名称に対応した製造地を表示することが基本となります。加工原材料が国産品の場合には「国内製造」、輸入品の場合には「(原産国名)製造」と表示します。

そのため輸入小麦を国内で製粉した小麦は「小麦粉(国内製造)」と表示され、外国産原料であっても国産原料が使われていると誤解されるおそれがあり、注意が必要です。(農民連常任委員 勝又真史)

食品表示基準による原料原産地表示の表示方法

表示方法	表示の内容	表示例
国別重量順表示	使用の多い順に国名を表示	小麦(アメリカ、カナダ)
又は表示	可能性のある国を使用が見込まれる順に表示	小麦(アメリカ又はカナダ)
大括り表示	3カ国以上から輸入の場合に「輸入」と表示可	小麦(輸入)
製造地表示	中間原料の製造地を表示。原料原産地は表示されない	小麦粉(国内製造)

ホットラインの投稿は編集部メールアドレス s-press@shinfujin.gr.jp へ

ホットライン

宮城

原発ゼロへ 毎月の宣伝を再開

【県本部 佐々木ゆきえ】10月8日、女性ネットの宣伝行動に参加しました。女川原発が再稼働され、原発敷地内に乾式貯蔵施設の建設も県、石巻市、女川



若い女性も署名▲宮城

町が認可しました。このままではいられないと、毎月の宣伝を再開。原発をなくす全国連絡会の署名行動に原発問題住民センターからも参加、9人で44人の署名でした。「(自民党)総裁選しない方が良かったネ」「原発事故の怖さを知らないのか!」と怒りを込めて署名した夫婦は福島県南相馬の方でした。

熊本

ミサイル配備に反対 スタンディング

【熊本支部 古澤京子】9月23日、陸上自衛隊建軍駐屯地の長射程ミサイル配備に反対するスタンディングを駐屯地前でおこないました。車から手を振ったり、道行く人からの視線も感じました。

配備撤回を求める要請に県も市も「国防は国の専管事項。国に直接要請するように」と無責任



「ミサイルはいらない」▲熊本

福岡

平和パネル展 「交流のひろば」も

【福岡東支部 大谷真子】今年で9回目の平和パネル展を市民センターで開き(8月30・31日)延べ164人が来場。広島の高校生約30点に加え、地元九州産業大学の学生が市内に住む被爆者の証言を聴いて制作した絵画も8点展示しました。

55枚のアンケートに複数の中学生が感想を書いてくれました。初めての「交流ひろば」には12人が参加。「加害の実情も知らない」と、「南京虐殺はなかった」という見解に操られる。「戦争の遺品を見ることも重要」など活発な話し合いに。地域の高校2校に高校生の絵の展示をお願いし、こちらもOKでした。

兵庫

「戦争展」で 絵本の読み聞かせ

【垂水支部 松山美保子】被爆80年の今年、8月20日〜3日間、



新婦人コーナーも▲兵庫

垂水区文化センターロビーで開かれた「平和のための戦争展」に延べ1500人が訪れ、高校生の原爆の絵や原爆組写真に見入りました。新婦人コーナーに絵手紙や川柳などを展示、折り紙コーナーも。神戸新聞が取材し、21日朝刊に載りました。22日にはひまわり班の班長Kさん脚本の「子どもたちに聞いてほしい、せんそうのはなし」。絵本「ちいちゃんのかげおくり」や峠三吉の詩の朗読などを13人の会員が演じました。子ども6人を含めて60人が参加。絵手紙に見入っていた方が9月に体験に来られたり、他団体の男性が読者になりました。



「交流のひろば」▲福岡